

骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術（LSC）と経膜メッシュ手術（TVM）の術後成績に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

防衛医大泌尿器科において 2012 年 6 月から 2020 年 7 月 31 日までに手術が施行されており術後 3 か月以上観察し得た骨盤臓器脱症例を対象とします。

2. 研究目的・方法

骨盤臓器脱は高齢女性の 10 人に 1 人が罹患する疾患であり、有効な根治療法は手術しかありません。現状では腹腔鏡下仙骨脛固定術（LSC）と経膜メッシュ（TVM）手術が主要な術式ですが、どちらの術式がどのような症例に適しているのか、議論の分かれるところでもあります。当院では 2012 年 6 月より TVM 手術を、2016 年 5 月より LSC を実施しており、いずれの術式を実施した症例においても比較的良好な術後成績を示していますがどちらの術式が妥当であったかという結論は得られておりません。今回我々は、いずれか 2 つの術式で手術を実施した骨盤臓器脱症例に対して術後成績に関する後ろ向き観察研究を行い、両群の術前・術後成績を比較解析することで術式の妥当な選択方法を検討することとしました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの個人情報、全て匿名化され、個人の特特定が出来ないようにした後、研究に利用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん、もしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合は研究対象としませんので下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校病院泌尿器科

研究責任者：黒田 健司

Tel: 04-2995-1211(内線 2392)